

愈く深々愈々往々愈々難カル可シ諸氏請フ今日ニ安シビス當
 進勵行技ヲ杏林ニ揮ヒ術ヲ刀圭ニ致シ益々新道ノ竊奧ヲ洗メ
 天賦ヲ未タ窮マザルニ播ヒ沈潜ヲ既ニ體ルニ回サハ獨リ諸
 氏ノ獎譽ヲミナラス亦以テ吾等ヲ顯微鏡院ノ最大名譽ナラスナ
 諸氏大レ努力セラシテ切ニ渴望ス微シ不肖致テ末班ヲ汚ス
 幾度カ對マシテ欲シテ能ハス雖モ歸辭ヲ陳シ譯テ祝詞ニ代ト
 爾云

維時明治廿九年五月十九日

東京顯微鏡院助手

名川徳太郎 再拜

●**回歸熱講習** 去月廿九日午後二時より東
 京顯微鏡院内に於て内田彦雄、高田群司等の諸
 氏發起となり市内開業醫中斯道に熱心なる諸氏
 相會し遠山椿吉氏及醫學士入澤達吉氏を招待し
 て回歸熱診斷法講習會を催されたり内田氏先づ
 該會首唱の主旨を述べられ終りて遠山氏は同病

に關する顯微鏡的並に細菌學的の性質及検査法
 に就て周到に講演せられ入澤氏は回歸熱侵襲の
 歴史及症候治療法等診斷上の要點を漏さず講演
 せられたり當日は市内のみならず近縣より態々
 出京せられたる有志者もあり會する者五十餘名
 に達し終了散會したるは午後七時なりと云ふ全
 院階上には數十種の回歸熱スピロフェーテの圖
 式及左に掲ぐる數種の全標本を陳列して講師は
 懇ろに説明せられたりと云ふ

(1) 回歸熱スピロフェーテの生活狀態 新鮮血液懸
 滴装置 (2) 同乾燥標本 (メネーレン青染色) (3) 同上
 (グエンテル法に據り染色したるもの) (4) 齒垢ス
 ビルレン (5) コレラ便中のスピルレン (此二種は
 參照用とす)

●**回歸熱血液採取法に就て** 近々東京
 顯微鏡院へ諸方より回歸熱疑診患者の血液検査

を依頼せらるゝもの續々これある由なるが其中
 の多數は何分にも採取の方法宜を得ず或は血液
 の數滴を小器に盛り或は兩硝子板間に乾燥固着
 せしめ或は他の流動物又は消毒藥等を混したる
 が如きものすらありて多くは検査の成果を得ず
 折角依頼者の熱心注意も爲めに水泡に歸すると
 多き由なるが元來「オートベルマイエル」螺旋菌は
 結核其他の細菌と大に其性質を異にし些細の外
 感たごへば蒸溜水に逢ふも已に其態を變する程
 のものなれば血液採取に際し注意に缺くる所あ
 りれば現在血中に存するも之を發現し能はざるに
 至るべければよく注意して採取し送附せざ
 りば勞して功無きに至るべしとて同院にては心
 を勞せられて道中醫事新誌上に其注意を廣告せ
 られ居るは之の爲めなりと云ふ

●**廓大微菌圖幅**

此度顯微鏡院にて豫約

時事

を募集し調製發賣する圖は方二尺五寸餘の大圖
 の由抑、微菌の如き精細なる者の圖の精巧を缺
 けるは元來圖書の能ある者は細菌學の智識に乏
 しく、學者は圖書に巧ならざる等の難事ありて
 斯道に遊ぶ者の常に遺憾とする所なりしか此度
 東京顯微鏡院にて調製せる廓大微菌圖幅と稱す
 る者は斯道に精通せる某學者が嘗て畫道にも妙
 あるを幸ひ同院講師遠山椿吉氏と協議研究の末
 氏等が實地を就き觀察せる所を基礎とし旁ら内
 外の微菌圖の精を抜き之に參酌して描出せる者
 なれば微菌至細の外形、配列、着色等に至りて
 宛然眞物を取りて鏡下に照見せるに寸毫の差な
 く歐洲に於て刊行せる圖類と雖ども多く其類を
 見す特に各微菌の廓大は眞物の五千倍五寸餘、
 日本製掛幅なれば講義、演説、實驗室、病院、
 診療所、書齋等に掲げて人に説明するに最も妙

なるべく先般東京顯微鏡學會の折り同院を掲げて會衆に示したりと云ふ唯、惜むべきは前述の如き大圖なれば石版等には到底彫刻するを得ず木板等になすも日本今日の印刷業程度にては成功覺東なく強て之を製せしむれば非常の價額となり逆も需要者を出すべくもあらざればとて不得止某氏が一々揮毫するものなれば多數の製出は愈々難く此度二十部を限り豫約する所以なりと云ふ

●賈氏診斷學見本に就て譯者に質す

凡る物品を購はんとする者は先づ其見本に就て其良否或は吾が意に適するや否を判定するを常とすれば商賈の見本なる者は粹を撰み精を示すもの多く現物は却て見本より劣るも勝れたるは稀れなりと雖ども書籍の見本の如きは生は其然らざるを信す其見本にして若し誤謬の點を發

見するときは一斑を見て全豹を評するにはあらざるも全部に就て又同様の點ありざるやと幾分の疑念を生ずるは數の免れざる處なり生頃日某新誌の附録費氏診斷學の見本を一讀するに誤謬と云ふにはあらざるべきも甚だ疑惑を生じ了解に苦しむの點あり世間或は生と感と同ふするの人もあるやも計り難ければ茲に疑問を提出して數示を仰ぎ併せて譯者の注意を乞はんとす

同見本(甲)フレンケル氏肺炎球菌の項に◎何レノ亞尼林色素ニ由テモ能ク染着セラレ得レモグラム氏ノ方法ニ由テ脱色セラル、トナシ(乙)フリードレンデル氏ノ肺炎球菌ハ大ニ前項ノ者ニ類似スレモグラム氏法ニ由テ脱色セラレザルヲ異ナリトス」とあり前文を解釋すれば甲乙共にグラム氏法に由て脱色せられざるもの、如し生は乙は脱色するものと記置すれ共如何哉之れ余

疑惑する處なり右は活字の誤植なりとの答辨なれば余又何ぞか云はん

本郷 〇二生投

●傳染病彙報 季節漸く暑に向ふ虎列刺復

た起らざるか赤痢更に行はれざるか衛生に従事する者同視意りなからんを要す近々予輩の耳にする所實に左の如し

○回歸熱 は廣島從來就中一兩月間にして各地に蔓延したり四つ香川縣、兵庫縣、大坂府、東京を首とし神奈川、埼玉、千葉、茨城、長野、岡山、廣島、徳島、栃木、福島等の諸縣皆然り之を以て推すに全國到處必ず之を見るべしと雖ども恐く只之を發見せずしてインフルエンザとし不全霍乱斯とし又は間歇熱として看過するのみ本年の傳染病報告中不全霍乱の著しく多きは蓋し其内に間歇熱を含み居るならんとの評は眞に近し此

流行に就き内務省の訓示出て、其地方には嚴密なる豫防法出でんとして稍滑ならず、關西某市には盲醫の頭顱のみ並べりとして某新誌上に小波瀾ある抔勢ひ仲々すまじとの事

○虎列刺 去月廿二日大坂市東區神崎町男(七十八年)一人三十日に兵庫縣神橋通り男(四十九年)一人類似虎列刺に罹り又三十一日愛知縣東宇和郡俵津村女一人同病に罹りたりと云ふ

○ペスト病 曩に横濱入港の船中同病發生の報に接せしより以來は内地に聞く所なかりしが去月七日長崎入港の米國汽船ベルニ一號乗込支那人一名同病に罹り死亡したり臺灣安平地方に同病を發したれども大事に至らざる由

○其他 天然痘は各地に散發し腸霍乱は到處に連續たりと云ふ